

# 災害時の避難行動

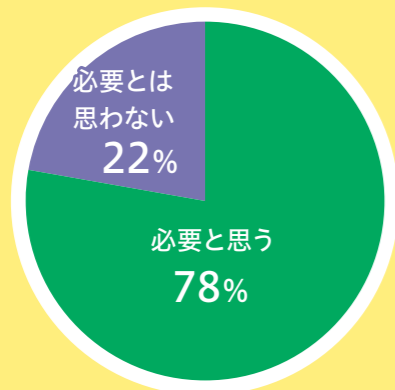
今こそ  
共助による  
避難行動を！

2022年9月、災害時における住民の避難行動について市民モニターにアンケートを行いました。8割近い人が避難することが必要だと感じる一方で、避難経験のない人が6割以上を占めていました。

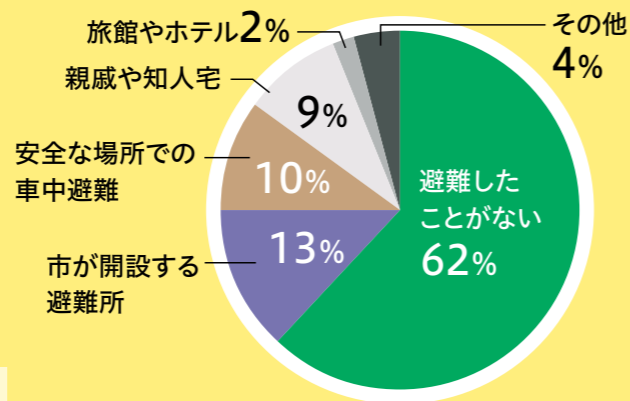
改めて、自らの命を守るために、災害発生時に発表される警戒レベルを正しく理解しましょう。そして、被害を最小限に食い止めるために、地域住民同士で助け合うことが重要です。

## 「災害時における住民の避難行動について」アンケート結果

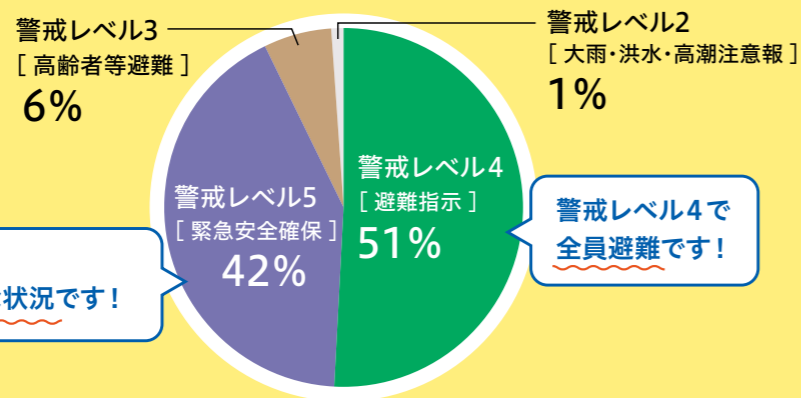
災害時に避難情報が発令された場合は避難することが必要と思いますか？



これまで災害時に次のいずれかの施設等に避難したことがありますか？



次の災害情報等のうち、どの情報で避難をしますか？



警戒レベル5はすでに命が危険な状況です！

警戒レベル4で全員避難です！

### アンケート結果からわかったこと

- ✓ 避難行動をとることは必要だと認識しているけど、実際に行動に移す人は少ない
- ✓ 避難する警戒レベルの認識が間違っている

## 自主防災組織が行う避難訓練に対する支援

災害が起きた際に速やかに避難ができるよう、地域での避難訓練実施を支援しています。

防災について学ぶ

防災に関する研修会を開催しています。

避難訓練について知る

マニュアルを提供しています。

訓練に必要な資機材を備える

避難訓練に必要な物資を購入するための補助金(上限10万円)を支給しています。

## 避難訓練の実施例

### 向原町有留自治振興会の取り組み

実施日 3月5日(日) 参加者 25人

#### 研修

2022年11月、市主催の防災の研修会・ワークショップに4人で参加。市補助金を活用し車椅子、毛布、救急箱、防水ラジオ、LEDライト、乾電池を購入。

#### 話し合い

自治振興会のメンバー22人で話し合い、避難訓練の実施日を3月5日に決定。初めてなので、有留地域のうち3区と4区のみで実施。避難場所は洪水・土砂災害の警戒区域に入っていない「西光寺」に設定しました。

#### 避難訓練

高齢者や要支援者の自宅へ声を掛けに行き、避難場所へ誘導しました。いざ避難してみると、「西光寺」の前には階段があるため、足の不自由な方は避難が難しいこと、大人数に対応できるトイレがないことなど、想定外の気づきがありました。

#### 今後

避難は時間との勝負なので、地区の中で連絡網を作り、要支援者のサポート役もあらかじめ決めておく必要があると感じました。また、避難が長引いた際の非常食など、防災グッズも購入予定です。夏頃に他の区での実施を検討しています。



資機材を購入できる補助金の申請についても市の担当者がサポートします。



電話で連絡を取り合います。



避難場所の「西光寺」に集合する皆さん。



高齢者や要支援者にとっては階段がネックに。



お互い助け合いながら避難をすることが大切です。



今回は少人数での実施でしたが、今後は徐々に人数を増やして実施予定。



警戒レベルと避難行動についての周知は今後も継続されるとのこと。

#### まとめ

まずは声掛け訓練など簡単なことで構いません。皆さんの地域でも、できることから始めてみましょう。

避難訓練実施のためのサポートを行います。気軽に相談してください！

危機管理課 ☎お太助フォン 42-5625